SHINTO TAIZEN

神道大全

すべて
文化教養入門
神社手帖
今月の言葉
神職の小話
強運から学ぶ生き方

記事を探す

文化教養入門

公開：2026年8月23日 / 最終更新：2026年8月23日

天神の神社で会社祈願を受けるには？選び方・初穂料・準備を解説

会社の安全祈願を任されたものの、「どの神社を選べばよいのか」「初穂料はいくら用意するのか」「当日までに何を準備するのか」と迷う担当者も多いのではないでしょうか。

会社祈願では、願意や日程を決めるだけでなく、参列人数、玉串奉奠を行う人、服装、集合時刻なども事前に調整する必要があります。

この記事では、福岡市天神の神社で会社祈願を検討している方に向けて、会社安全・事業繁栄・商売繁盛の違い、神社の選び方、申込方法、初穂料の準備、当日の流れを解説します。

警固神社の受入人数や駐車場、授与品の取り扱いも紹介しますので、社内の手配にもお役立てください。

前田 典文
著者

---

1 会社祈祷の目的と主な種類

1.1 会社祈祷は何のために行うのか

1.1.1 商売繁盛、会社や従業員の安全を祈る

1.1.2 結束を強める決起の場になる

1.2 どの願意を選べばよいか

1.2.1 会社安全は職場の無事を祈る

1.2.2 事業繁栄は事業の発展を祈る

1.2.3 商売繁盛は商いの発展を祈る

1.3 祈祷形式はどう選ぶか

1.3.1 社頭祈祷は神社で行う

1.3.2 出張祭典は現地で行う

2 天神で会社祈祷を受ける神社の選び方

2.1 神様のご利益で選ぶ

2.1.1 祀られている神様のご利益を調べる

2.1.2 警固神社は商売繁盛や会社の発展につながるご利益

2.2 会社の氏神様かどうかで選ぶ

2.2.1 会社が所在する地域の氏神様を調べる

2.2.2 氏神様以外の神社でも会社祈祷を受けられる

2.3 設備と受入体制を確認する

2.3.1 参列人数に対応できるか確認する

2.3.2 駐車場の有無

2.3.3 待機場所と空調を確認する

2.4 警固神社の受入条件

2.4.1 着席40名・立席60名まで

2.4.2 30名以上は貸切となる

2.4.3 祈祷者専用駐車場がある

3 会社祈祷の申込みと日程調整

3.1 どのように申し込むか

3.1.1 公式サイトから申し込む

3.1.2 電話で申し込む

3.1.3 神社を訪れて申し込む

3.2 祈祷日程はどう決めるか

3.2.1 祈祷できない日もある

3.2.2 予約可能なら事前に予約する

3.3 予約時に何を確認するか

3.3.1 参加人数

3.3.2 集合時刻と所要時間

3.3.3 初穂料の金額

3.3.4 玉串の本数

4 社内で準備しておくこと

4.1 初穂料を準備する

4.1.1 予約時に確認した金額を用意する

4.1.2 現金をのし袋か白封筒に包む

4.1.3 表書きは「初穂料」とする

4.2 奉献酒を持参するか決める

4.2.1 必須ではない

4.3 玉串奉奠を行う人を決める

4.3.1 基本は参列者の代表者1名が行う

4.3.2 同格の代表者がいる場合は複数名でもよい

4.4 上席者への事前の案内

4.4.1 玉串奉奠の役割を依頼する

4.4.2 待機場所と所要時間を連絡する

4.5 参列者へ当日の案内事項を共有する

4.5.1 集合場所と時刻を共有する
4.5.2 遅刻時の対応を共有する
4.5.3 服装を共有する

5 当日の流れ・マナー

5.1 受付から祈祷までどう進むか

5.1.1 受付後に拝殿へ案内される
5.1.2 神職の案内に沿って進む

5.2 所要時間はどれくらいか

5.2.1 20〜30分間が目安

5.3 撮影と携帯電話の注意点

5.3.1 祈祷中の撮影は禁止

6 授与品の受け取りと取り扱い

6.1 授与品はいつ受け取るか

6.1.1 祈祷後に拝殿で受け取る
6.1.2 受付時に受け取る場合もある

6.2 木札はどこに祀るか

6.2.1 高く清潔な場所に祀る

6.3 お神酒はどう取り扱うか

6.3.1 早めにいただく

会社祈祷の目的と主な種類

会社祈祷は何のために行うのか

商売繁盛、会社や従業員の安全を祈る

会社祈祷は、事故や災害の防止に加え、業務の円滑な遂行、従業員の健康、商売繁盛などを神様に祈る儀式です。

新年や創業記念、新規事業の開始といった節目に祈願を受けることで、安全に対する意識を改め、気持ちを整えて業務に臨む機会にもなります。

結束を強める決起の場になる

会社祈祷は、経営者や担当者だけでなく、従業員が同じ場所に集まり、会社の安全と発展という共通の目的を確認する機会です。

日常業務から離れて全員で祈りを捧げることで、新しい一年や事業の開始に向けて気持ちを切り替える決起の場にもなります。

共同の宗教儀礼に関する研究では、儀礼に一緒に参加することと、参加者同士の支援関係や社会的結束との関連が報告されています。

ただし、参加するだけで自動的に結束が強まるわけではありません。

祈祷後に会社の目標や安全方針を共有し、一人ひとりの役割を確認することで、祈願を組織の一体感につなげやすくなります。

出典：Power「Collective ritual and social support networks in rural South India」。

どの願意を選べばよいか

会社安全は職場の無事を祈る

会社安全は、職場で事故や災害が起こらず、従業員が健やかに働けることを祈る祈祷です。

業務が円滑に進み、トラブルのない安心して働ける環境が続くことも願います。

工場や建設会社に限らず、事務所や店舗などを営む会社も受けることができます。

事業繁栄は事業の発展を祈る

事業繁栄は、会社や団体の業績向上、組織の発展、取引や人脈の拡大を祈る願意です。

目先の売上だけでなく、堅実な成長と安定した経営が続き、事業を通じて社会へ貢献できることも願います。

新規事業の開始、事業拡大、創業記念など、会社全体の中長期的な発展を願う節目に適しています。

商売繁盛は商いの発展を祈る

商売繁盛は、事業や会社の繁栄、売上の向上、取引先との良好な関係を祈る願意です。

日々の努力が実を結び、顧客から末永く愛される商売となることを願います。

小売店や飲食店、サービス業に限らず、売上や顧客との関係を重視する企業にも適しています。

祈祷形式はどう選ぶか

社頭祈祷は神社で行う

社頭祈祷は、参列者が神社へ足を運び祈祷を受ける、祈祷の基本となる形式です。

神様がお鎮まりになる本殿の厳粛な雰囲気のなか祈りを捧げられます。

受付を済ませた後、係の方の案内で御神前へ進みます。

職場や建物自体をお祓いしたい場合や慰霊祭などを除き、基本的には社頭祈祷を選びましょう。

出張祭典は現地で行う

屋外であればテントを張り斎行することも

出張祭典は、神職が会社や店舗、工場、工事現場などへ出向き、その場所で祈祷を行う形式です。

職場や建物自体を祓い清めたい場合や、参列者が神社へ移動しにくい場合に適しています。

社頭で行う場合と必要な準備が異なるため、祭典を行う場所や用意するもの、初穂料を申込みの際に確認しておきましょう。

天神で会社祈祷を受ける神社の選び方

神様のご利益で選ぶ

祀られている神様のご利益を調べる

会社祈祷を受ける神社を選ぶ際は、御祭神とそのご利益である御神徳を調べましょう。

神社に祀られている神様にはそれぞれ異なるご利益があります。

天神に限らず全国の神社では学問の神様や、方位除けの神様など様々な神様が祀られています。

神社の公式ホームページなどを見ることで、その神社にはどのような神様が祀られ、どのような祈りが受け継がれてきたかを知ることができます。

警固神社は商売繁盛や会社の発展につながるご利益

警固神社に祀られている警固三神は、災いを祓い、物事を良い方向へ導く神様として信仰されています。

会社の経営には、事故や災害、予期せぬトラブルなど、事業の継続を

妨げるさまざまなリスクが伴います。

警固神社では、こうした災厄を遠ざけ、会社の安全と安定を願うとともに、良い方向へ導く御神徳によって、商売繁盛や社運隆昌、さらなる事業発展を祈祷できます。

参考：警固神社『警固神社について』

会社の氏神様かどうかで選ぶ

会社が所在する地域の氏神様を調べる

氏神様とは、その地域を守る神様であり、会社の安全や事業の繁栄を祈る際の大切な選択肢です。

まずは、会社の所在地を氏子区域とする神社を確認しましょう。

ただ、最も近い神社が氏神神社であるとは限りません。氏子区域は公式サイトだけでは分からない場合もあるため、近隣の神社へ問い合わせるか、各都道府県の神社庁へ問い合わせると確実です。

出典：神社本庁「氏神さまについて」

氏神様以外の神社でも会社祈祷を受けられる

会社祈祷を受ける神社は、氏神神社だけに限定されるものではありません。

例えば、氏神様となる神社に神職が常駐しておらず、別の神社での祈願を案内される場合もあります。

氏神様を大切にしながら、会社や経営者が日頃から信仰する神社で祈祷を受けることもできます。

氏神様にこだわる必要はなく、御祭神の御神徳や祈祷内容、会社からのアクセス、参列人数への対応などを踏まえて総合的に選ぶとよいで

しょう。

設備と受入体制を確認する

参列人数に対応できるか確認する

会社祈祷では、参列予定者全員が拝殿に入れるかを事前に確認しましょう。

万が一拝殿に入りきれない場合は、一部の参列者が祈祷中に外で待機することもあります。

人数によっては貸切が必要になるかということも含め、事前に確認しておきましょう。

駐車場の有無

車で参拝する参加者がいる場合は、神社に駐車場があるかを確認しましょう。

駐車場があっても、利用できる台数が限られている場合や、祈祷者のみ利用できる場合があります。

併せて、事前予約の要否、利用可能な時間、祭典や正月期間による利用制限も確認が必要です。

特に正月期間は多くの参拝者で賑わうため、駐車場利用について通常時と大きく異なる神社が多く、事前に確認しておきましょう。

待機場所と空調を確認する

祈祷までの待機場所と拝殿の空調設備も、神社を選ぶ際の確認事項です。

役員や高齢の参列者がいる場合は、椅子の有無、待機できる人数、受付から拝殿までの移動経路を確認しておきましょう。

また、神社の社殿は冷暖房設備がない場合もあるため、夏季や冬季には拝殿の空調状況を事前に尋ねる必要があります。

空調がない場合に備えた服装や防寒対策は、参列者へ予め案内しておくといいでしょう。

警固神社の受入条件

着席40名・立席60名まで

警固神社の拝殿では、全員が椅子に座る場合は40名まで参列できます。

立席を含める場合は、60名まで参列可能です。

参加人数が40名を超える場合は、一部の参列者が立ったまま祈祷を受けることになるため、事前に社内で了承を得ておきましょう。

人数が確定していない場合は、予約時の予定人数と着席を希望する人数を神社へ伝えておくと、当日の案内が円滑になります。

30名以上は貸切となる

警固神社では、参列者が30名以上になる場合、合同祈祷ではなく貸切祈祷での受付となります。

29名まではほかの参拝者と合同で祈祷を受けられますが、希望すれば29名以下でも貸切祈祷を申し込めます。

合同祈祷と貸切祈祷では初穂料が変わるため、変更は早めに神社へ連絡しましょう。

祈祷者専用駐車場がある

警固神社には、祈祷を受ける方のための専用駐車場があります。

利用する場合はゲートバーの手前まで進み、神社へ電話するか、授与所へ申し出てゲートを開けてもらいます。

ただし、1月1日から10日までの正月期間中は雑踏事故防止のため、祈祷者も駐車場を利用できませんので注意しましょう。

出典：警固神社「よくあるご質問」

会社祈祷の申込みと日程調整

どのように申し込むか

公式サイトから申し込む

祈祷の申込方法は、神社によって様々です。

神社の公式サイトに申込フォームがある場合は、希望日時や祈祷内容、参列人数、代表者の連絡先などを入力して申し込みます。

時間を気にせず手続きでき、申込内容を記録として残しやすいことがメリットです。

電話で申し込む

多くの神社は電話で祈祷の申し込みを受け付けています。

日にちが迫っている場合や、確認事項が多い場合は電話で申し込むと確実です。

希望日時と願意、会社名、代表者名、参列人数を伝えたうえで、初穂料、玉串の本数、駐車場、待機場所なども確認しましょう。

神社を訪れて申し込む

神社を訪れ、社務所や祈祷受付で直接申し込む方法です。

神職や受付担当者へ質問しながら手続きできるため、祈祷内容や当日の流れについて相談したい場合に向いています。

一方、神社によっては事前予約を受け付けず、参拝当日に来社した順番で祈祷を行う場合があります。

当日受付のみの場合は、祭典や混雑状況によって祈祷まで待つ可能性があるため、受付時間や祈祷できない時間帯を事前に確認しましょう。

祈祷日程はどう決めるか

祈祷できない日もある

神社では年間を通して祭典や結婚式などが行われるため、希望する日時に会社祈祷を受けられない場合があります。

同じ日であっても、時間帯によっては祈祷できないこともあります。

社内の日程を確定してから神社へ連絡すると調整が難しくなるため、候補日と時間帯を複数用意して問い合わせましょう。

特に年始や年度初めなどの祈祷が集中しやすい時期は、早めの確認が必要です。

予約可能なら事前に予約する

事前予約を受け付けている神社であれば、会社祈祷は予約しておくと安心です。

ただし、事前予約を受け付けず、当日受付のみとしている神社もあるため、最初に申込方法を確認する必要があります。

予約時に何を確認するか

参加人数

予約時には、現時点での参加予定人数を神社へ伝えます。

拝殿の広さや椅子の数によっては、全員が着席できない場合や、一部の参加者が立ったまま祈祷を受ける場合があります。

人数が多いときは、複数回に分かれて祈祷を受ける神社や、代表者のみ昇殿する神社もあります。

全員が拝殿に入れるか、何名まで着席できるか、人数変更はいつまで可能かを確認しましょう。

集合時刻と所要時間

神社によっては、祈祷開始の〇分前までに受付を済ませるよう指定されている場合があります。

予約時に受付期限を確認し、参列者全員が余裕をもって到着できる集合時刻を設定しましょう。

所要時間は祈祷そのものだけでなく、受付、待機、拝殿への移動、授与品の受け取りまで含めて考える必要があります。

終了予定時刻も確認し、移動や混雑を考慮した余裕のある社内日程を組みましょう。

初穂料の金額

初穂料の金額は、神社によって異なります。

一律の金額を定める神社のほか、「〇円以上」とする神社、祈祷内容や参加人数などによって金額が変わる神社もあります。

会社名、祈祷内容、参加人数を伝えたうえで、納める金額と支払方法を確認しましょう。

領収書が必要な場合は、発行の可否と宛名も事前に伝えておくと安

心です。

玉串の本数

会社の代表者1名が玉串を奉る場合のほか、複数の役員や各社の代表者がそれぞれ奉る場合もあります。

玉串の本数は参加人数と同じとは限らないため、奉奠する人を社内で決めたうえで神社へ相談しましょう。

必要な本数、奉奠する順番、当日の作法を確認しておけば、祈祷を円滑に進められます。

玉串奉奠する人へ、その旨を事前に伝えておくことも大切です。

社内で準備しておくこと

初穂料を準備する

予約時に確認した金額を用意する

初穂料の金額は、神社や祈祷内容によって異なります。

「〇円以上」と定められている場合もあるため、予約時に会社名や祈祷内容、参加人数を伝え、納める金額を確認しましょう。

金額に幅がある場合は、社内で予算の承認を得たうえで金額を決めます。

現金をのし袋か白封筒に包む

熨斗袋か白封筒に包みましょう

初穂料は、のし袋または無地の白封筒に包んで持参します。

のし袋を使用する場合は、紅白の蝶結びの水引が付いたものが一般的です。

黒白や黄白の水引は弔事に使用するため、会社祈祷では避けましょう。

表書きは「初穂料」とする

上段に「初穂料」、下段に「会社名」や「氏名」を記入する

のし袋または白封筒の上部には、濃い墨で「初穂料」または「玉串料」と記入します。

下部には、祈祷を受ける会社名と代表者名を書きましょう。

会社名を代表者名より小さく書くと、全体のバランスを整えやすくなります。

奉献酒を持参するか決める

必須ではない

奉献酒とは、神様への感謝や敬意を表すために神前へお供えする日本酒です。

会社祈祷において初穂料とは別のお供えであり、一般的な祈祷では、奉献酒を持参しなくても失礼には当たりません。

会社の慣例や奉納の意向を踏まえ、持参するかどうかを決めましょう。

玉串奉奠を行う人を決める

基本は参列者の代表者1名が行う

会社祈祷の玉串奉奠は、社長や役員など、参列者を代表する1名が行うのが一般的です。

代表者が玉串を神前へ奉り、ほかの参列者はその場で代表者に合わせて拝礼します。

誰が会社を代表するのかを事前に決め、本人へ役割を伝えておきましょう。

同格の代表者がいる場合は複数名でもよい

共同代表者や同格の役員がいる場合は、複数名で玉串奉奠を行うこともできます。

複数の会社や部署が合同で祈祷を受ける場合に、それぞれの代表者が玉串を奉る方法もあります。

ただし、対応できる人数や玉串の本数は神社によって異なるため、奉奠者の役職と氏名を伝えて事前に相談しましょう。

複数名で行う場合は、奉奠する順番も社内で決めておくと当日の進行が円滑になります。

上席者への事前の案内

玉串奉奠の役割を依頼する

上席者に玉串奉奠をお願いする場合は、必ず事前に依頼しましょう。

玉串奉奠は、会社を代表して玉串を神前へ奉り、祈りを捧げる役割であることを説明します。

複数名で行う場合は、奉奠者の人数と順番も伝えておきましょう。

玉串奉奠の作法は神職から案内される場合もありますが、念のため作法も伝えておくと安心です。

参考：神社本庁「参拝方法・玉串拝礼の作法」

待機場所と所要時間を連絡する

待機場所から拝殿まで離れている場合や待機所自体が無い場合があります。

そのため上席者には、集合場所と時刻だけでなく、受付場所、待機場所、祈祷の開始時刻も連絡しましょう。

参列者へ当日の案内事項を共有する

集合場所と時刻を共有する

参列者には、神社名、所在地、集合場所、集合時刻を事前に共有しましょう。

「神社の境内」だけでは範囲が広く、合流できないおそれがあります。

社務所前、祈祷受付前、鳥居付近など、目印となる具体的な場所を指定します。

受付や出欠確認にかかる時間を考慮し、祈祷開始時刻よりも余裕を持った集合時刻を設定しましょう。

遅刻時の対応を共有する

遅刻や当日の欠席が発生した場合の連絡先と対応方法も、あらかじめ決めておく必要があります。

祈祷が始まると担当者は携帯電話を確認しにくくなるため、「集合時刻を過ぎた場合は各自で祈祷受付へ申し出る」など、連絡がつかない場合の行動まで共有しておくと安心です。

服装を共有する

参列者には、当日の服装を事前に案内しましょう。

神社から指定がなければ、スーツや制服など、会社行事にふさわしい端正な服装を基本とします。

拝殿内の空調状況も踏まえ、暑さや寒さへの対策も伝えておくと安心です。

当日の流れ・マナー

受付から祈祷までどう進むか

受付で申込用紙を記入する

受付後に拝殿へ案内される

神社に到着したら、社務所や祈祷受付で会社名、祈祷内容などを伝えます。

申込内容を確認し、初穂料を納めた後、指定された場所で待機しましょう。

準備が整うと、神職や受付担当者から拝殿へ案内されます。

神職の案内に沿って進む

拝殿へ入った後は、神職から案内された場所へ着席します。

祈祷は神職の案内によって進行します。

私語を控え、携帯電話の音が鳴らないようにしたうえで、神職の案内に合わせて拝礼しましょう。

所要時間はどれくらいか

20〜30分間が目安

会社祈祷の所要時間は、受付や待機、祈祷までを含め、全体で20〜30分程度が一つの目安です。

ただし、祈祷の内容や参列人数、神社の進行方法によって所要時間は異なります。

前の祈祷や祭典、混雑状況によって待ち時間が生じる場合もあるため、予約時に終了予定時刻を確認し、その後の予定には余裕を持たせましょう。

参考：駒林神社「よくあるご質問」

参考：猿田彦神社「御祈祷・ご祈願」

撮影と携帯電話の注意点

祈祷中の撮影は禁止

祈祷中の写真や動画の撮影については、基本的に禁止です。

ただし、社殿内や祈祷中の撮影を禁止する神社もあれば、祈祷の開始前と終了後に限って認める神社もありますので、撮影を希望する場合は、写真・動画の別、撮影できる時間と場所、使用できる機材を予約時に確認しましょう。

社内報やWebサイト、SNSなどへ掲載する場合は、その目的も事前に伝えておきましょう。

授与品の受け取りと取り扱い

授与品の内容は神社によって異なる

授与品はいつ受け取るか

祈祷後に拝殿で受け取る

祈祷終了後に神職から受け取ることが多い

祈祷札やお守り、神酒などの授与品は、祈祷の結びに拝殿で受け取る

ことが一般的です。

会社の代表者がまとめて受け取る場合は、会社名や願意の記載、授与品の数量に誤りがないか確認しましょう。

受付時に受け取る場合もある

神社や祈祷の形式によっては、授与品を受付時に渡される場合もあります。

参列者が昇殿せず、神社へ祈祷を依頼する「お預かり祈祷」では、受付後すぐに授与品を受け取る神社もあります。

受け取る場所やタイミングは神社の案内に従い、会社名や授与品の内容をその場で確認しましょう。

参考：水天宮「ご祈祷のご案内」

木札はどこに祀るか

高く清潔な場所に祀る

御札は南もしくは東の方角に向けて祀る

会社祈願で受けた祈祷札は、社内に神棚があれば神棚へ納めます。

神棚がない場合は、棚や書庫の上など、目線より高く清潔に整えた場所へ丁重に祀りましょう。

祈祷札が倒れたり落下したりしないよう固定し、従業員が落ち着いて手を合わせられる場所を選びます。

祈祷札の正面を南または東へ向けるのが一般的ですが、方角にこだわり過ぎず、神様に失礼のない清浄な場所を選ぶことが大切です。

参考：神社本庁「よくあるご質問」

お神酒はどう取り扱うか

料理酒などにも使用できる

早めにいただく

祈祷後に受け取る御神酒や海苔、菓子などは、神様へお供えしたものを下げた「撤下品」です。

神様からのお下がりとして、賞味期限や保存方法を確認し、社内で保

管したままにせず早めにいただきましょう。

参考：愛知県神社庁「神社ってなんだろう」

よくあるご質問

Q.会社祈祷は予約が必要ですか？

A.予約の要否は神社によって異なります。
会社祈祷は参列人数や玉串の本数などの確認事項が多いため、事前に予約できる神社であれば、早めに申し込むと安心です。

Q.会社祈願の準備で必要なことは何ですか？

A.まず、願意、希望日時、参列人数、玉串奉奠を行う代表者を決め、神社へ申し込みます。
あわせて、初穂料、集合場所と時刻、所要時間、服装、駐車場、撮影の可否を確認し、参列者へ共有しましょう。
初穂料は、紅白の蝶結びののし袋か無地の白封筒に包んで準備します。
奉献酒は必須ではないため、会社の慣例や奉納の意向に応じて判断してください。

Q.氏神様以外の神社でも会社祈祷を受けられますか？

A.氏神様以外の神社でも会社祈祷を受けられます。
御祭神の御神徳、祈祷内容、会社からのアクセス、参列人数への対応などを踏まえて選びましょう。

Q.初穂料はいくら用意すればよいですか？

A.初穂料は神社や祈祷形式、参列人数によって異なります。
会社名や祈願内容、人数を伝えて金額を確認し、紅白の蝶結びののし袋か無地の白封筒に包んで持参しましょう。

Q.会社祈祷の所要時間はどれくらいですか？

A.受付や待機、祈祷、授与品の受け取りを含め、全体で20〜30分程度が目安です。
祭典や混雑状況によって待ち時間が生じる場合もあるため、その後の予定には余裕を持たせましょう。

Q.会社祈願にはどのような服装で参列すればよいですか？

A.スーツや制服など、会社行事にふさわしい端正な服装が基本です。
拝殿の空調状況を確認し、季節に応じた暑さ・寒さ対策も案内しておきましょう。

Q.祈祷中に写真や動画を撮影できますか？

A.祈祷中は撮影できません。
神社によっては、開始前や終了後のみ認められる場合もあるため、撮影できる時間・場所・機材を予約時に確認しましょう。

Q.警固神社の会社祈願には何名まで参列できますか？

A.警固神社では、全員が着席する場合は40名まで、立席を含める場合は60名まで参列できます。
30名以上は貸切祈祷となるため、人数が確定したら早めに連絡しましょう。

この記事をシェアする

mail magazine

メールマガジン登録。
今月の言葉の配信や、人生の選択に役立つエピソードをお届けします。

登録

次の記事

カテゴリー一覧へ

関連記事

【完全版】祈祷の初穂料・封筒の書き方と渡し方マナー解説

2026年3月25日

文化教養入門

端午の節句とは？意味・由来・初節句のお祝いの仕方をわかりやすく解説

2026年4月21日

文化教養入門

夏至とは？2026年はいつ？食べ物・風習・冬至との違いを解説

2026年6月4日

文化教養入門

神道の葬式（神葬祭）とは？流れ・マナー・費用から仏教との違いまで完全解説

2026年4月7日

文化教養入門